

## 島の宝石

海辺の樹林地や集落近くの身近な場所でも、宝石のように鮮やかに輝く甲虫に出会うことができます。

### リュウキュウツヤハナムグリ（学名：*Protaetia pryeri*）

体長は2cm程で、金属光沢の強い緑色または銅色の個体が多く、とても美しい色をしています。成虫は樹液や果実の汁を好んで吸います。九州南部から琉球列島にかけて生息し、沖縄島ではよく見られますが、慶良間の座間味島、阿嘉島などでは数が少ないので見つけたら幸運です。

### アオムネスジタマムシ（学名：*Chrysodema dalmanni*）

体長は2～3cm程で、緑色の光沢のある体に黄色い粉がついていて金緑色に見える大型のタマムシです。成虫はモモタマナの葉を食べ、幼虫はモモタマナの枯木を好んで食べます。港にある公園などに植えられているモモタマナの周りを探すと見つかるかもしれません。琉球列島に生息し、夏頃に見ることができます。

### オキナワイチモンジハムシ（学名：*Morphosphaera coerulea*）

体長は9mm程で、濃い青緑色の金属光沢の翅と、胸部のオレンジ色のコントラストが美しいハムシの仲間です。胸部のオレンジ色の中には一文字状に並んだ黒い点があります。ガジュマルやハマイヌビワなどの葉を好んで食べ、増えすぎるとガジュマルなどを枯らす害虫となることもあります。奄美大島以南に生息し、初夏から秋にかけて見ることができます。